

平成26年度海域対策ワーキンググループ  
オニヒトデ対策小グループ活動報告

環境省石垣自然保護官事務所

# —平成24年度からの体制(協議会承認版)—

＜石西礁湖自然再生協議会(年二回開催・WGの報告主体としたイベント)＞

＜協議事項＞

①自然再生全体構想の作成、②自然再生事業実施計画の協議、③自然再生事業実施に関する連絡調整など

《生活・利用に関する部会》

・地域住民の生活に必要な活動との両立を検討する場

WG(部会準備会)の立ち上げ

【陸域対策WG】

・赤土等流出防止対策  
・排水等対策

【海域対策WG】

・オニヒトデ対策小グループ  
・水産資源管理  
・海域の適正利用

【普及啓発WG】

・普及啓発項目の検討  
・広報啓発システムづくり

【学術調査WG】

・サンゴ礁の現状把握  
・科学的知見に基づく対策検討

＜協議事項＞

自然再生活動の実施に関するテーマ別連絡調整など

※適宜WG間で情報共有・意見交換会を実施(地域委員会の発展型)  
→地主導で運営

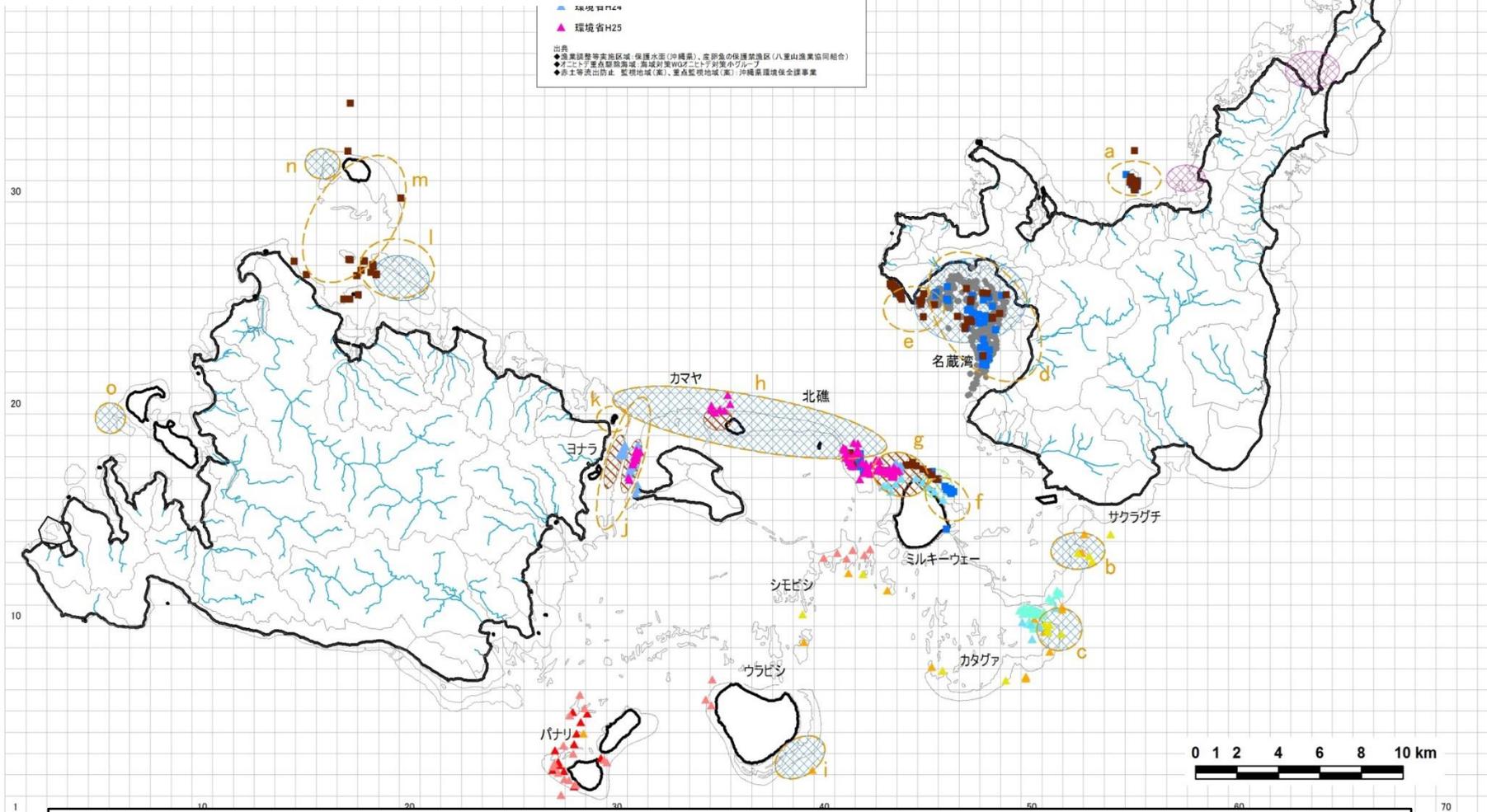
環境省、沖縄県自然環境課、石垣市水産課、石垣市環境課が実施するオニヒトデ駆除事業を連携して実施することをはじめとし、必要な情報共有を行う

# 過年度の駆除実施状況

～平成26年度台1回学術調査WG資料4-5より～

- 流域界
- ▲ 環境省H17
- ▲ 環境省H18
- ▲ 環境省H19
- ▲ 環境省H20
- ▲ 環境省H21
- 沖縄県H25
- 石垣市水産課H24
- 石垣市水産課H25(ふるさと納税)
- 石垣市水産課H25(水産多面的事業)
- 石垣市水産課H25(漁場保全事業)
- 石垣市環境課H25

- 環境省H24
  - ▲ 環境省H25
- 出典  
 ● 商業競争等実施区域、保護水圏(沖縄県)、産卵魚の保護禁漁区(八重山漁業協同組合)  
 ● オニヒトデ重点駆除海域、海域対策WGオニヒトデ対策小グループ  
 ● 赤土等流出防止 監視地域(案)、重点監視地域(案)、沖縄県環境保全課事業



参加団体が選んだ守るべき・守りたい・守れる場所をオニヒトデ駆除重要海域とし、役割分担のもと集中的・効率的な駆除を実施

## 平成26年度のオニヒトデ対策小グループ開催状況

### ～平成26年度第1回(通算第5回)～

開催日時 平成26年6月10日

- ・平成26年度オニヒトデ駆除計画について
- ・平成25年度オニヒトデ駆除の報告について



### ～平成26年度第2回(通算第6回)～

開催日時 平成27年1月8日(木)

- ・平成26年度第3四半期までのオニヒトデ駆除状況
- ・平成26年度第4四半期のオニヒトデ駆除計画

#### ●参加団体

八重山漁業協同組合、環境省石垣自然保護官事務所、内閣府石垣港湾事務所、石垣市水産課、石垣市自然環境課、石垣島マリンレジャー協同組合、八重山マリンレジャー事業協同組合、竹富島ダイビング組合、八重山ダイビング協会、石西礁湖サンゴ礁基金ほか

# 平成25年度の駆除状況、オニヒトデの発生状況

▲ 環境省(西表石垣国立公園サンゴ礁保全業務)

計2,426匹(5~3月、3人・5日/月)

■ 沖縄県(沖縄県サンゴ礁保全活動支援事業)

計2,439匹(9~3月)

▨ 石垣市水産課(ふるさと納税) 計1,242匹(4~5月、2~8人・4日/月)

▨ 石垣市水産課(水産多面的事業) 計6,171匹(1~3月、5~14人・6日/月)

▨ 石垣市水産課(漁場保全事業) 計6,587匹(1~3月、25~50人・4日/日)

● 石垣市環境課(オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業)

米原 33(15日・3人/月)

・レイシガイダマシ>オニヒトデ  
・小型個体(20cm未満)

大崎 180(43日・3人)

・小型個体(20cm未満)

嘉耶真島 73

・サンゴ低被度でオニヒトデ少  
・大型(30cm以上)

名蔵(県・市環境課)

7014(11~2月、66日・2~6人)

・前年の1/6に減少  
・中央部離礁に多い(小型)

マサーグチ~タキドウ  
ングチ 1407

・急激な増加なし  
・小型個体(20cm未満)  
・西側>東側

ヨナラ水道 946  
(前年2273)

・前年から引き続き駆除数多い  
・前年ほど急激な増加傾向はではない  
・小型個体(20cm未満)  
・サンゴ高被度域ため今後も注意

竹富島北東 46(20日・3人/月)

・小型個体(20cm未満)

浜島東 110(11日・3人/月)

・小型個体(20cm未満)

ギーラーピー南 401(11日・3人/月)

・多様なサイズ、食害進む(要注意)  
・北側はよりサンゴが高被度だが冬期も入れる南部を集中駆除

・前年と比較し、駆除数は大幅に減少  
・小型個体が多い

# 平成26年度の駆除及びオニヒトデの出現状況

環境省(西表石垣国立公園サンゴ礁保全業務) 計1,620匹(8~12月、3~5人・4日/月)

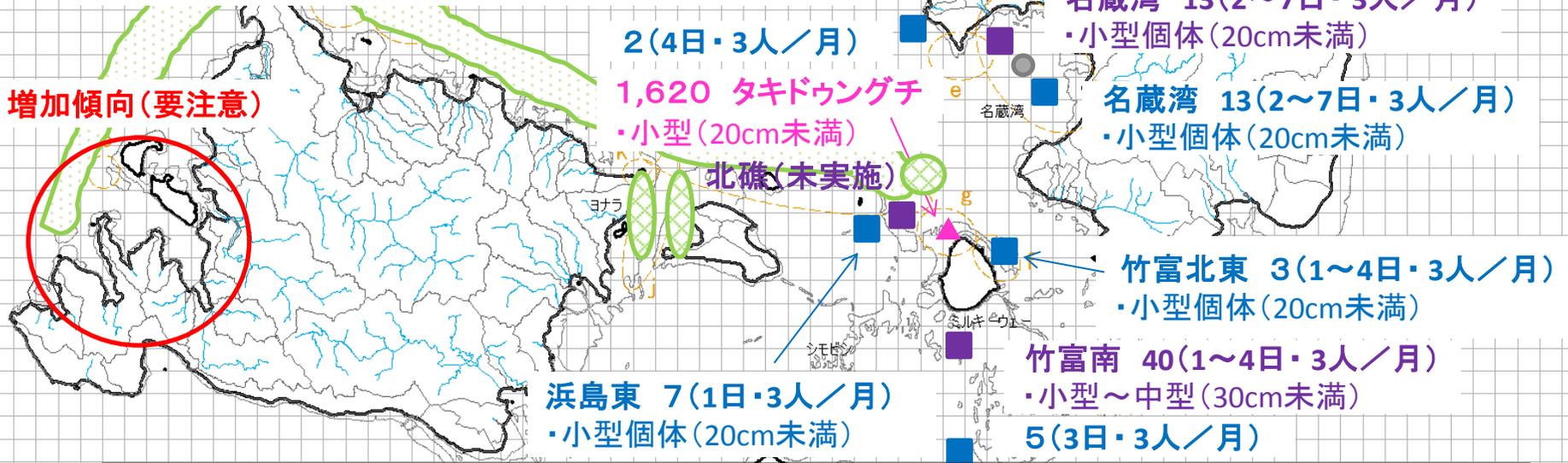
沖縄県(沖縄県サンゴ礁保全活動支援事業)

■実施者A 計34匹(9~11月、3人・5~10日/月)

■実施者B 計128匹(10~12月、2人・2~5日/月)

石垣市水産課(水産多面的事業) ヨナラ水道東西、マサーグチで駆除予定  
(1、2月、10名・5日/月)

石垣市環境課(オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業)



- ・前年と比較し確認されたオニヒトデの数は大幅に減少、小型が多い  
→分布縮小傾向? 小型個体を発見できていない?
- ・竹富島南では依然としてオニヒトデが多い
- ・H26春頃から崎山湾周辺でオニヒトデが増加傾向(中型・食害進行早い)
- ・駆除は3月まで継続予定

## その他の共有事項(1)

### ～平成26年度ワーキンググループで話し合われた事項等～

#### ●駆除の時期

- ①オニヒトデは28度程度で産卵(5～6月)  
→4, 5月中の親ヒトデの駆除が効果的
- ②夏場はあまり発見できず、9月頃から成長した個体が増加する傾向  
→秋頃～3月にかけて成長した個体の徹底的な駆除

#### ●駆除等の手法、処理方法

- ・地形、潮流の他、サンゴのサイズやサンゴ相、周辺での駆除状況等も駆除効率・効果に影響していると考えられる
- ・状況に合わせたモニタリング手法の検討(スポットチェック法は水深が浅く、大型のオニヒトデが多く発生している場合に有効)
- ・ここ数年、酢酸注入法の普及により堆肥センターの利用は減少中。安全面・効率面向上。

## その他の共有事項(2)

### ●今後の開催方法について

年2～3回程度開催予定

・年度頭初

→前年度の駆除結果の報告と情報共有

・9月前

→駆除実施状況及びオニヒトデ発生状況等の共有、行政機関の次年度予算確定前の駆除エリアの検討

## 課題と今後の対応

### ●第1回ワーキンググループ

- ・マスコミ等を活用した情報発信
- ・協議会からの助言とフィードバック  
→協議会や学術調査WGで話し合うべき事項等の議論
- ・報告様式の統一 →第2回WGにて試行的に作成
- ・安全な引上げ方法・道具の共有

### ●第2回ワーキンググループ

- ・オニヒトデ駆除海域の役割分担の再検討
- ・モニタリング業務と駆除のリンク
- ・科学的視点の導入
- ・オニヒトデに関する最新情報を共有できる環境

協議会や学術調査WGで出た意見をフィードバックさせながら、課題への取り組みや必要な情報交換を行って行く